

国民健康保険

昭和36年度の決算(事業勘定)

歳入 約2,051万円
歳出 約1,863万円

差引き37年度へ繰り越される額 約188万円

昭和37年度の予算

(12月末現在) 約1,988万円

被保険者、保険給付などの移推

Table with 4 columns: 区分, 34年度, 35年度, 36年度. Rows include 被保険者世帯数, 被保険者数, 保険給付費, 給付件数.

農業共済事業

昭和36年度の決算

歳入 約1,229万円
歳出 約1,075万円
差引き37年度へ繰り越される額 約154万円

歳入 約327万円

歳出 約127万円
差引き37年度へ繰り越される額 約200万円

37年度の予算

(12月末現在) 約228万円

天引金井簡易水道

この会計は、起債償還のみ町で経理していますので、略します。

小橋簡易水道

36年度の決算

町の財産と借金

財産土地

Table with 3 columns: 区分, 面積, 積。Rows include 山林、原野、その他地, 宅地.

建物

Table with 3 columns: 区分, 坪数, 坪。Rows include 役場、出張所及附属建物, 学校、倉庫及附属建物, その他.

積立金

Table with 3 columns: 名称, 金額。Rows include 町基本財産積立金, 罹災救助資金, 学校基本財産, 国民健康保険給付費支払準備金.

有価証券

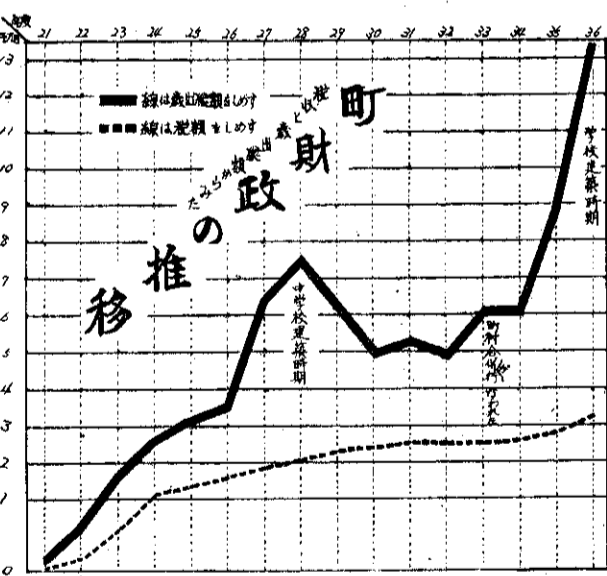
Table with 3 columns: 名称, 金額, 面。Rows include 日本勧業銀行株券, 日本電信株券, 日割引電信債.

37年12月末現在予算

Table with 3 columns: 科目, 予算額(千円), 37、12、31現在(千円). Rows include 町地方交付税, 公営企業及び財産収入, 分担金及び負担金, etc.

Table with 3 columns: 科目, 予算額(千円), 37、12、31現在(千円). Rows include 議会場費, 役場防音費, 消防費, etc.

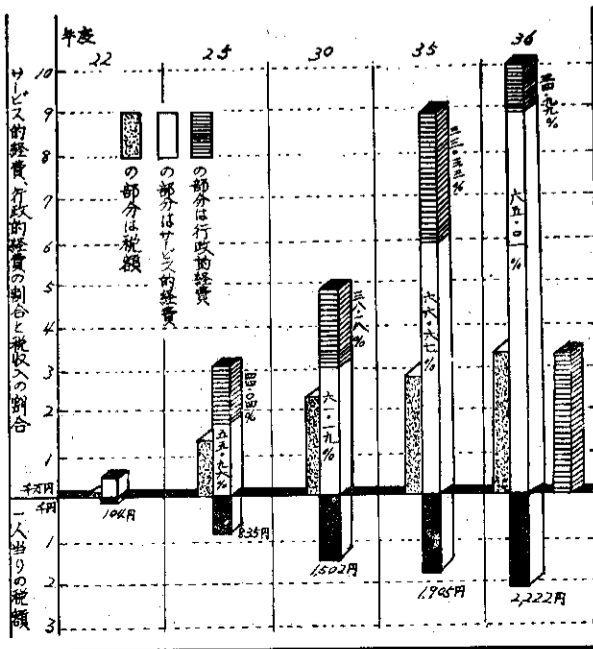
昭和36年度の決算のあらましは、すでに一月の広報でお知らせしました。そこで、今回は少し見方をかえて、約一億三、三〇〇万円の一般会計のお金が消費的のものにいくらか使われ、投資的のものにどのくらい使われたかをグラフによって表わしてみました。



町財政の推移

上のグラフは、終戦直後の混乱期から36年度に至るまで町の財政がどのように変遷してきたかを、年々の決算の歳出総額によって表わしたものです。

また同時に、この歳出総額に対して町税がどのくらい必要とされてきたかを、点線であらわしてみました。一般経済情勢の移りかわりを思いかえしながら見ていただくと、よくおわかりになると思います。



左のグラフは各年度のサービスの経費、行政的経費の割合及び税収入の割合と住民1人あたりの税負担額をあらわしたものです。

ここでいうサービスの経費とは、消防費、土木費、教育費、社会及び労働施設費、保健衛生費、産業経済費を合わせたもので、町のお金を支出することによって、ただちに直接住民に利益の生ずるものと思われるものをいいます。また、行政的経費とは、議会費、役場費、財産費、統計調査費、選挙費、公債費、諸支出金などあわせたもので、主として、町の運営に必要な経費をいいます。

37年度の一般会計

まず、年度はじめの予算総額は約一億五八七万三千円です。

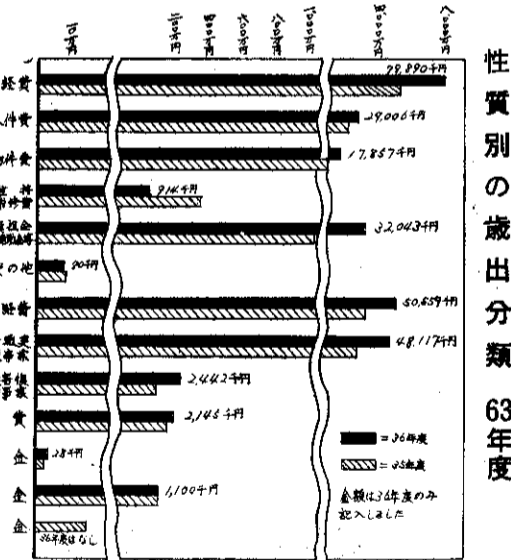
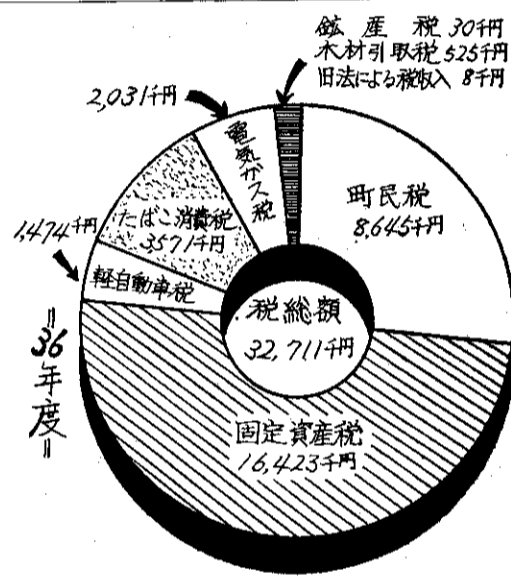
甘楽町の財政事情が公表されました。この公表は、35年から始められ、年に二回行なわれることになっています。こんどが七回目です。内容は、おもに36年度の決算の状況と、37年7月1日から12月31日までのものを一般会計、特別会計、町有財産その他にわたって、いろいろの角度から明らかにしたものです。広報では、このなかのあらましを、できるだけわかりやすくお知らせすることにします。

町のふやころ具合をみる

七回目、公表された財政事情から

この額は、37年4月1日現在の住民一人あたりでは七、一九一円、一世帯あたりでは三九、二九九円となっています。その後、三回にわたって予算の調整が行なわれ、37年12月末現在の予算は別表のとおりとなり、その総額は、約一億一、二〇〇万円になっています。別表「37年度の予算」の現状では、科目ごとに住民一人あたりや一世帯あたりの額をあげてみました。

決算のあらまし



性質別の歳出分類 63年度

自衛隊は

若者の夢をかなえる

どんな待遇だろうか

現在、甘楽町から五〇人か六〇人の自衛隊員が来ています。りつばな自衛官として日本国民のために働いていることはもちろんです。これらの先輩は、自分たちの町から、もつとたくさんの若者が入隊してくることを心待ちにしています。なぜなら、自衛隊には若者の希望にピッタリした隊内生活と、よい待遇があるから。